

洗足学園音楽大学レパートリーオーケストラ 前期公演



2021年 **7月3日(土)** 13:30開演
(13:00開場)

洗足学園 前田ホール

主催:洗足学園音楽大学・大学院

△新型コロナウイルス感染症の感染拡大を防ぐためのお願い

- ・マスク着用の徹底、こまめな手指消毒・手洗い・咳エチケットの励行にご協力ください。
- ・大声や対面での会話はお控えください。
- ・演奏者への声援はご遠慮いただき、拍手のみとしてください。
- ・休憩時、終演後はスタッフが扉を開けるまでお待ちいただき、空いているドアから混雑を避けて入退場してください。
- ・客席内やロビーでのご飲食はお控えください。
- ・出演者への面会はできません。出演者への花束・プレゼントもご遠慮ください。
- ・万一、集団感染の発生が明らかになった際は、保健所に入場者の情報を提供する場合がございます。



Program —プログラム—

Bedřich Smetana : Má Vlast

B.スメタナ：連作交響詩《我が祖国》

第1曲 ヴィシェフラド(高い城)

第2曲 ヴルタヴァ(モルダウ)

第3曲 シャールカ

—休憩—

第4曲 ボヘミアの森と草原から

第5曲 ターボル

第6曲 ブラニーク



Program Notes 一曲目解説

連作交響詩《我が祖国》(B.スメタナ作曲)

Má Vlast (Bedřich Smetana)

第1曲 ヴィシェフラド(高い城)

「ヴィシェフラド(高い城)」はチェコ国民楽派の父スメタナが、祖国への深い愛を込めて作曲した連作交響詩の一曲目。チェコ建国の女神リプシェと、夫プシェミスル王の玉座があったとされるヴルタヴァ湖畔のヴィシェフラドは、国家的功労者の墓地にもなっている。まず、ハープ2台によるカデンツァでテーマ提示され、それがだんだんとオケに受け継がれ様々に形を変えて登場する。ファンファーレが加わる序奏部では、神話的な建国の時代から、プラハがヨーロッパ文化の中心地として輝くに至るまでの栄光の歴史が、壮麗に描かれる。アレグロに入り、外敵との戦乱が始まった事を現す。明るくマーチ風の凱歌になり勝利を収めたかに見えるが、シンバルの一撃で戦況は逆転する。城は崩壊しクラリネットが哀愁漂う旋律が流れ消えるように閉じられる。現実的にはここから、チェコの苦難の歴史が始まったことになるのだが、曲としては序奏部が再現されて明るさが戻り、昔話の裏表紙を閉じるようなエピローグとなる。

トランペット専攻 3年 高木 美雨

第2曲 ヴルタヴァ(モルダウ)

連作交響詩「我が祖国」のなかで最も有名で、人気の高い曲である。

モルダウ(ドイツ語)として知られているが、チェコの原題はヴルタヴァとなっている。

この曲は、ヴルタヴァというボヘミアの中心を流れる川が上流から下流に向かって段々と大河になっていく様子を絵画的に描写しています。

2つの水源があるということで、フルートとクラリネットの掛け合いで曲ははじまり、編成が大きくなることで川幅の広がりを表している。

続いて、ヴァイオリン、オーボエによる最も有名な美しいメロディが現れ、森の狩猟へと場面が変わり、スラブ舞曲を表す楽しい結婚式での農民の踊りになる。続いて、木管楽器が川の流れや輝きを表しているなかに美しい月の光を表すヴァイオリンのメロディが現れます。その後、ヴァイオリン、オーボエによる主題が再び現れ、急流に差し掛かった部分で壮大な音楽となり、川の流れがプラハに帰ってきたことを思わせ、古城ヴィシェフラドが見えてくると、第1楽章の最初のテーマが現れる。

フルート専攻 3年 町田 花音

第3曲 シャールカ

「シャールカ」とは、チェコの伝説に登場する女性だけの種族の司令官を務める勇女の名前である。

まず、女族成敗を行うツチラトに敵対するシャールカの「復讐」を表す嵐のような音楽で始まり、これからの戦いを予兆させる。

次に、行進曲風の旋律が奏でられ、ツチラトの部隊が現れたことを告げる。シャールカはツチラトを誘惑するために自ら身体を樹に縛りつけ、泣き声をあげる。このシャールカの泣き声はクラリネットで表されている。シャールカの美しさに魅せられたツチラトは縄をほどき、求愛をする。ツチラトの求愛はチェロによって表現される。

その後、シャールカはお礼にとツチラト達に毒を仕込んだ酒を振る舞い酔わせて眠らせる。その様子を見届けたシャールカは角笛で仲間へ攻撃の合図を送り、最後、ツチラト達は皆殺しにされて幕を閉じる。

オーボエ専攻 3年 堀 友香

第4曲　ボヘミアの森と草原から

第4曲では、再び情景描写的な標題音楽に戻る。

この曲では、チェコ（ボヘミア）の田舎の美しさを描写しており、鬱蒼とした深い森を思わせる暗い響きのト短調が平原の風のように揺れ動きながら始まる。

曲が進むと夏の日の喜び、収穫を喜ぶ農民の踊り、祈りの情景、喜びの歌が繰り上げられる。

そして後半は、チェコの国民的舞踊でもあるポルカ。

収穫や婚礼などを思わせる陽気な祭りの舞曲は、無礼講的な盛り上がりを見せ、急テンポの新たな舞曲を導く。この後は既出主題の再現による激しいコーダとなり、勇壮に幕を閉じる。

打楽器専攻 3年　近藤 寛斗

第5曲　ターボル

この曲は、宗教戦争時代のフス教徒の英雄的な戦いを称えたものである。「ターボル」とは、南ボヘミア州にある古い町の名前のことで、1415年に処刑された宗教改革者ヤン・フスの意思を継ぐ人々の運動の拠点になった地名として有名である。フス派がこの町に立てこもり、ターボル派と呼ばれて激しい抗争を続けたため、チェコ人にとっては、常に革命を思い起こさせる地である。

この曲のモットーとなっているフス派の有名な讃美歌《汝ら神の戦士》は、ティンパニと低弦のざわめきの上にホルンが信号風に表れ、弦の総奏を中心とした旋律などに変化しながら、曲全体を通して数多く使われている。そこには確固たる意志、勝利への戦い、不撓不屈の魂が歌われている。これは「ブラニーク」でも引き続き用いられており、全体としてフス戦争とフス教徒の不屈の精神とを讃えている。

ファゴット専攻 3年　加藤 彩音

第6曲　ブラニーク

「ブラニーク」とはチェコの中央ボヘミア州にあり、山容がなだらかな木々に囲まれた山である。

そこにはフス教徒の戦士が眠っており、祖国の危機に直面した際、目を覚まし、国を助けると言われている。

曲は第5曲の「ターボル」からそのまま演奏され、フス教徒の戦いの最中を表しているように演奏される。

すぐに静まり、弦楽器の主題が戦士の休息をとっている様子を現し、遠くから羊飼いの音が聞こえてくる。

その後、讃美歌《汝ら神の戦士》の旋律が次第に強くなっていき、再び戦士が目覚め、戦いが始まる。

最後は、戦いの勝利と、第1曲の「ヴィシエフラド」の主題を交えて祖国の復興を高らかに奏で、連作交響詩を終結させる。

ホルン専攻 3年　半崎 愛理



上野 正博 (指揮)

神奈川県生まれ。

東京藝術大学音楽学部指揮科卒業。同大学院音楽研究科指揮専攻修了。

‘94年、東京国際音楽コンクール・指揮部門にて「入選」。‘96年、ベルリン芸術大学に留学。その後、「ベルリン・ドイツ・オペラ」の指揮研究員として研鑽を重ねる。

‘98年、ミトロプーロス国際指揮者コンクールに最高位 (1位なし2位) 入賞を果たし、併せて「ミトロプーロス・ゴールドメダル」を授与される。

今までに、東京都響、読売日響、東京フィル、東京響、東京シティ、新日本フィル、神奈川フィル、群馬響、名古屋フィル、京都市響、広島響、札幌響、九州響、関西フィル等を指揮し、好評を得てきた。また、ドイツの名匠G.アルブレヒトに直接指名される等、オペラスタッフとしても経験を積み、自らも、多くのオペラを指揮している。

海外では、2000年に国立ワルシャワ・フィル定期公演、ウィーン室内管のオーストリア・ツアーを指揮してヨーロッパ・デビュー。地元紙にも「的確な棒さばき」と評価された。‘06年には、ラボラトリウム国際現代音楽祭 (ワルシャワ) に招聘された。

昨年2月には、テレビ朝日「関ジャム完全燃SHOW」に出演。活動の幅を広げている。

現在、東京藝術大学大学院、洗足学園音楽大学大学院及びフェリス女学院大学講師。

洗足学園レパートリーオーケストラ

本学には、4年生を中心としたマスターオーケストラ、1年生管弦打楽器履修生によるベーシックオーケストラ、そして2~3年生を中心としたレパートリーオーケストラ(弦楽器は本学所属演奏補助要員が担当)があり、様々な管弦楽作品の研究・演奏を行っている。これまでに秋山和慶特別教授、ウラディミール・アシュケナージ名誉客員教授、クルト・マズア名誉客員教授らの世界的な重鎮に加え、小林研一郎、現田茂夫、山田和樹、井上道義など多くのベテラン・若手を織り交ぜた著名指揮者の客演を経て、その成果を発表している。





Member

—メンバー—

Flute	梅崎 真綾	園田 凧琉	土持 志織	筒井 さくら	町田 花音	池田 徳羽子
	池田 徳羽子	菊地 晃空	山上 智寛			
Oboe	宇治 愛	堀 友香	奥野 彩			
Clarinet	成瀬 未涼	二階堂 希美	笠 歌純	浦川 乃阿	トラングエン ゴックアン	矢ヶ崎 貴史
Bassoon	加藤 彩音	鹿山 唯	及川 夏海	渡邊 陽南		
Horn	浅田 万結	半崎 愛理	石野 奈々	梶田 茉朋	金井 亮介	田中 鈴夏
	種子田 佳歩	直田 真潮	中野渡 真咲	山本 海音		
Trumpet	磯野 沙弥香	高木 美雨	檜山 沙南	細谷 侑生	溝口 大輔	大津 泰
	五月女 啓太	鈴木 ころこ	トルグット ハヴィン	藤原 くるみ		
Trombone	宇賀那 晴臣	小野 航	中津 愛梨	樋口 美雨	望月 愛永	
Tuba	齊藤 徹也	澤田 翔也	鈴木 快門			
Percussion	江原 和紀	近藤 寛斗	櫻井 秀悠	佐藤 綾香	中田 実紅	川崎 友仁
	小山 梓	佐山 果凜				
Harp	三谷 真珠子*	山内 悠里佳*				
Concertmistress	三島 彩*					
Violin I	林 桃子*	筆氏 くらら*	松岡 野乃花*	森田 絢子*	井上 千恵美*	中山 智子*
	伊藤 みや乃*	菅野 千怜*	甲斐 涼太郎*	小林 茉*	冨家 聖香*	
Violin II	藤岡 瑞季*	大塚 樹里*	新山 開*	佐藤 友希乃*	前田 明日香*	鈴木 美智子*
	香田 早智*	木村 蒼*	松谷 萌江*	志村 瑠南*		
Viola	落合 なづき*	有福 佑依*	栗原 由樹*	平野 真生*	中野 綾子*	西村 梨沙*
	有山 志音*	加藤 星南*				
Violoncello	丹野 陽介*	橋本 総司*	伊藤 葵*	鈴木 黎子*	森 義丸*	荒木 匠登*
Contrabass	本橋 和樹*	遠藤 可奈子*	安田 廉*	高野 響花*	吉田 智海*	
						*…演奏補助要員
企画運営責任者	菅原 潤 (本学教授)					
リハーサルピアニスト	平峯 章生	皆川 純一				
指導教員	上野 正博	松村 秀明	近藤 薫	中 一乃	大野 かおる	羽川 真介
	矢内 陽子	菅原 潤	森 圭吾	吉岡 アカリ	佐藤 亮一	田淵 哲也
	辻 功	山口 卓郎	吉村 結実	伊藤 寛隆	鎌田 浩志	小林 利彰
	近藤 千花子	中舘 壮志	松本 健司	石井 淳	鈴木 一志	勝俣 泰
	小林 祐治	久永 重明	森 雅彦	海野 匡代	神代 修	古田 賢司
	古田 俊博	尹 千浩	池上 亘	小田桐 寛之	門脇 賀智志	菅 貴登
	府川 雪野	次田 心平	渡邊 功	井手上 達	中村 祐子	松本 祐二
	山田 徹					
助手	中村 日向子					
アカデミックコーディネーター	野崎 江里					